

そしてこの拙著の上梓にあたり福岡学術出版社の宮原節社長を始め社員の方々には私の身勝手な要望に一つ一つ誠実に耳を傾けて頂き、煩雑な作業も丁寧になさして頂き、漸く出版に漕ぎ着けることが出来た、その多大のお力添えに厚く御礼申し上げます。

最後に 家族を顧みることの少なかつた私を蔭ながら支え、見守り続けてくれた妻、絹子の献身に改めて感謝したい。

二〇一六年（平成二十八年）一月

焼山 廣志